

令和2年10月7日

テーマ「児童・生徒一人一台の端末整備について」

青梅市教育委員会

I 学校の ICT 環境整備について

(1) 教育の ICT 化に向けた環境整備5か年計画(2018~2022年)(文部科学省)

- 学習者用コンピュータ、指導者用コンピュータ
- 大型提示装置、実物投影機
- 超高速インターネット及び無線 LAN
- 統合型校務支援システム
- ICT 支援員 他

(2) GIGA スクール構想の実現(文部科学省)※令和元年度補正予算

- ~令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境~
- 児童生徒1人1台端末の整備
 - 校内通信ネットワークの整備(校内 LAN、電源キャビネット)

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大による一人一台端末、通信環境整備の前倒し

※GIGA スクール構想の加速がもたらす学びの変容より

【別紙1】

(4) 青梅市総合長期計画等との関連

①第6次青梅市総合長期計画・基本計画 平成25年度-平成34年度(2013-2022)

第3章 次代を担う子どもをみんなで育むまち

3 学校教育 (4)教育環境の充実

②第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度~令和6年度)

第4章 基本目標および具体的な施策展開

基本目標1 : 子どもを生み・育て、将来にわたり暮らし続けたいまちを実現

②青梅ならではの教育環境の充実 ○教育の ICT 化推進事業

③青梅市教育委員会の教育施策-令和2年度教育施策の概要・青梅市教育推進プラン-

II 青梅市教育委員会の基本方針(令和2年度)

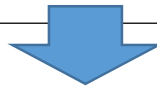
【基本方針2】「豊かな個性」と「創造力」の伸長 6 情報教育の推進

2 青梅市の現状

(1) 整備状況(令和2年3月時点)

※令和元年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(概要)より【別紙2】

- 教育用コンピュータ1台当たりの児童・生徒数:約9人
- 普通教室の無線LAN整備率:約90%
- 普通教室の大型提示装置整備率:約23%
- 統合型校務支援システム:100%



令和3年度に向けて準備(令和2年度補正予算)

- 1人1台端末
- 高速通信ネットワーク

(2) 教員研修等

	対象	内容等
1	情報教育推進担当	・Google サービスを活用したオンライン学習
2	情報教育推進担当	・プログラミング教育の推進について ・オンラインの推進に関する情報交換
3	管理職 情報教育推進担当 等	◎オンライン学習推進のための指導者講習会(都主催) ・オンライン学習の事例紹介 ・オンライン学習に必要なWebツールの操作方法
4	教務主任	◎オンライン教務主任会 ・各校の授業時数確保に向けた情報交換



オンラインによる校内での会議、研修等
(例) 服務研修
小中一貫教育研究会

3 今後において

(1) ICT活用の目的の明確化

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を目指す → 学力の向上

(2) 国の方針をふまえたICT環境の整備および授業改善のための教員研修の充実

- 大型提示装置、実物投影機
- 管理職等を対象としたオンライン研修

(3) 再度の臨時休業および長期欠席児童・生徒への対応

- 児童・生徒と学校をつなぐツール → 健康観察、子ども同士のつながり、学習保障
・都タブレット端末の活用(2月まで)